

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第 3 1 回）

日時：令和 3 年 1 2 月 2 3 日（木）

午前 1 1 時～

場所：第二庁舎 4 階 災害対策本部室

次 第

1 開 会

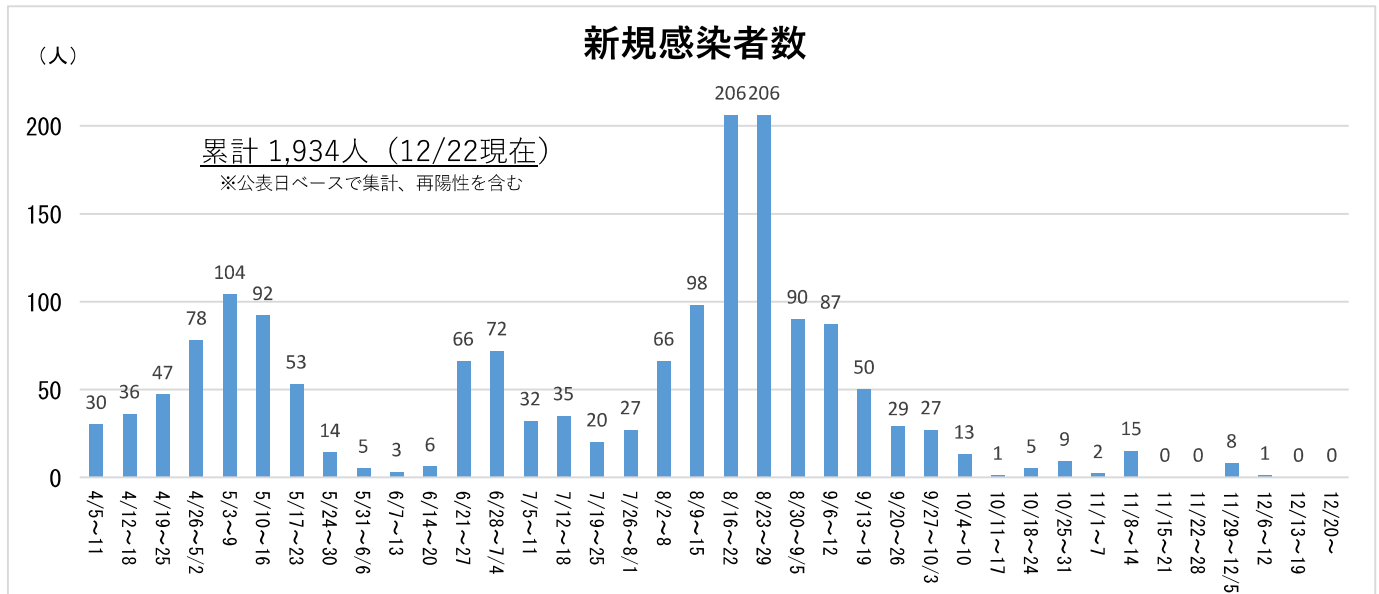
2 議 題

- （１）新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について（資料 1）
- （２）新型コロナワクチンの接種について（資料 2）
- （３）感染警戒レベル等について（資料 3）
- （４）ワクチン・検査パッケージについて（資料 4）
- （５）PCR 等検査無料化事業の実施について（資料 5）
- （６）新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について（資料 6）
- （７）その他

3 知事指示

4 閉 会

新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について

令和3年12月23日
健康福祉部

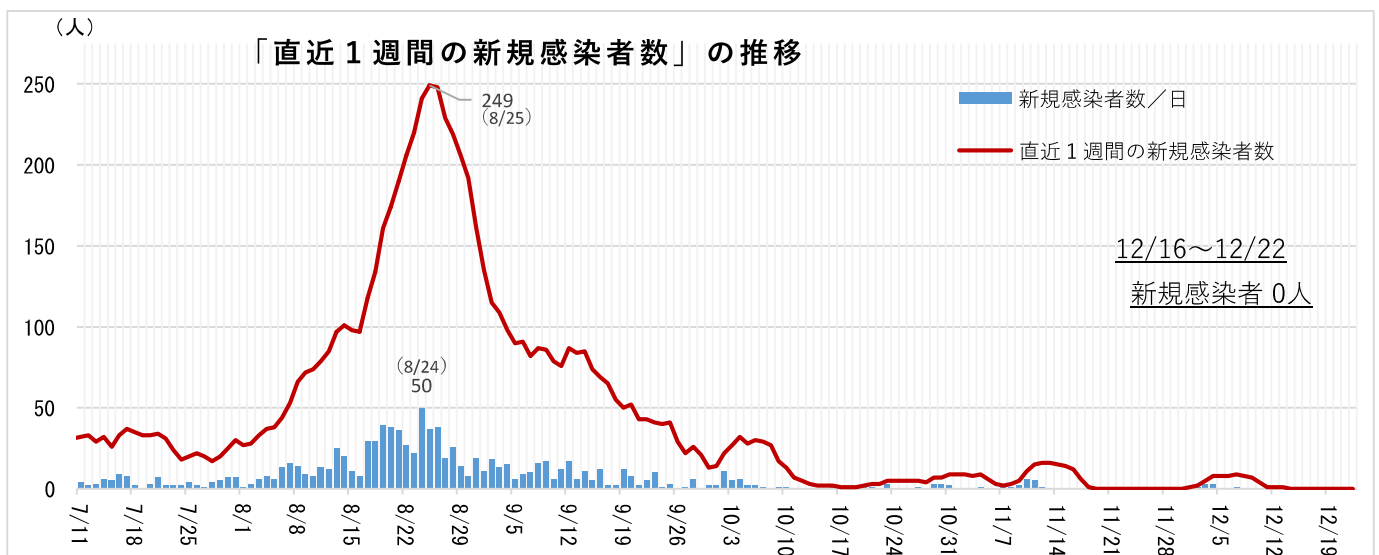
入退院者数等状況 (12/22現在)

累計感染者数	入院者	うち重症者	宿泊療養者	社会福祉施設等療養者	自宅療養者	入院等調整中	退院・療養解除者	死亡者
1,934人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1,907人	27人

8月以降の主な感染事例 ※【 】は保健所管内

【秋田市】

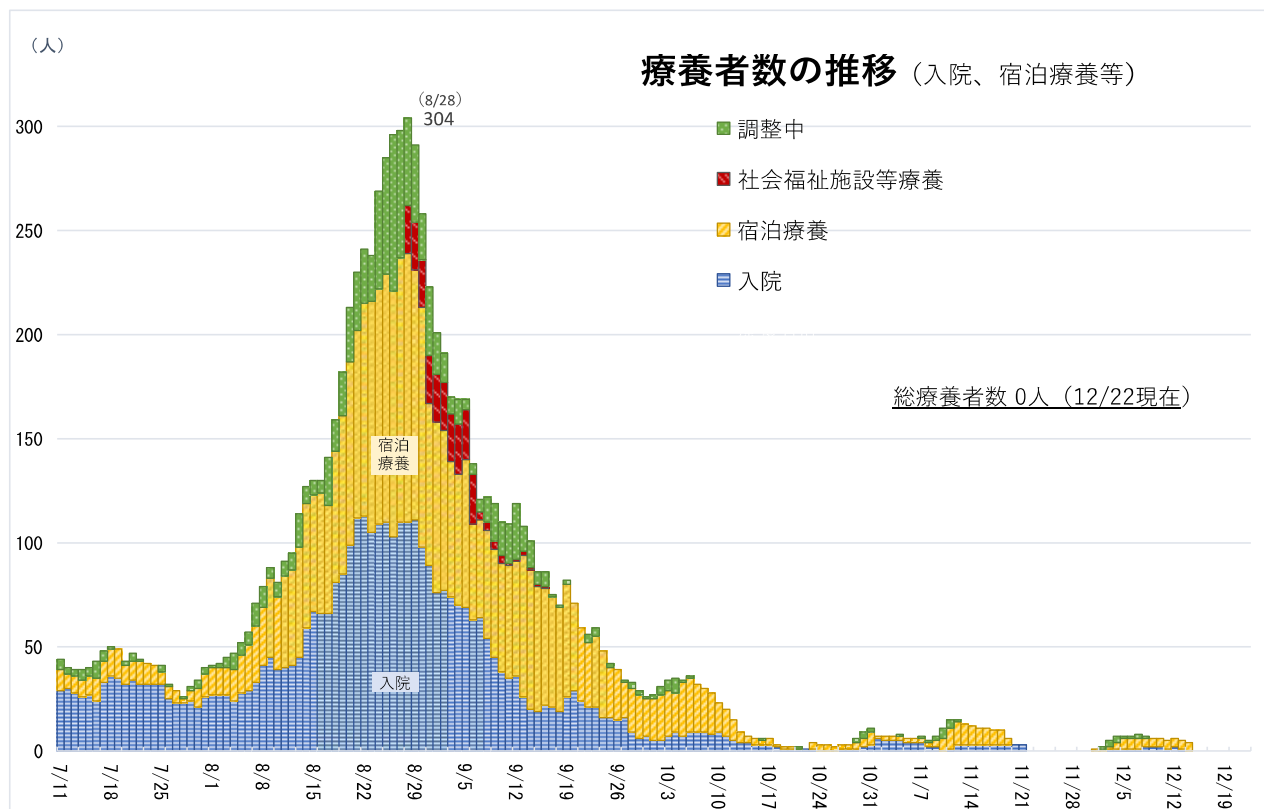
- ・大学11人(8/2-21)
 - ・病院10人(8/15-22)
 - ・イベント13人(8/21-25)
 - ・作業船31人(8/24-9/9)
 - ・職場6人(10/30)
 - ・飲食店7人(8/10-14)
 - ・病院12人(8/18-23)
 - ・会食7人(8/23)
 - ・職場8人(8/26-28)
 - ・小学校12人(11/10-12)
- 【秋田市・秋田中央】・高校8人(9/6-14)
- 【大館】・職場5人(8/5-8)
- 【大仙】・職場10人(8/6-22)
- 【由利本荘】・会食8人(8/19-21)
- ・飲食店45人(8/24-9/3)※23店舗



変異株の状況

【オミクロン株の検査対応】

- ・新型コロナの検査で陽性が確認された場合、変異株スクリーニング検査を実施
(県健康環境センター及び秋田市保健所で検査体制を整備済み)
- ・オミクロン株の可能性が疑われる場合、その全例について、ゲノム解析を実施



入院病床及び宿泊療養施設の使用状況（12/22現在）

（人、床・室）

入 院 病 床 （フェーズ3）					宿泊療養施設		
入院者数 （うち重症） ①（②）	現在の 確保病床数 （うち重症者用） ③（④）	病床使用率 （重症者用ヘース） ①/③（②/④）	最大確保 想定病床数 （うち重症者用） ⑤（⑥）	病床使用率 （重症者用ヘース） ①/⑤（②/⑥）	療養者数 ⑦	現在の 確保居室数 （収容人員数） ⑧（⑨）	居室使用率 （収容人員ヘース） ⑦/⑧（⑦/⑨）
0（0）	140（10）	0.0%（0.0%）	289（24）	0.0%（0.0%）	0	395（488）	0.0%（0.0%）

注）上記のほかに入院・療養調整中の者は無し

中和抗体薬の県内使用実績（12/17現在）

コロナプリープ：16病院 177症例（うち循環器・脳脊髄センター 58症例）

ゼビュディ：実績なし

年代別 累計感染者数（12/22現在）

（人）

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
129 (7%)	249 (13%)	368 (19%)	298 (15%)	316 (16%)	206 (11%)	141 (7%)	107 (6%)	120 (6%)	1,934 (100%)

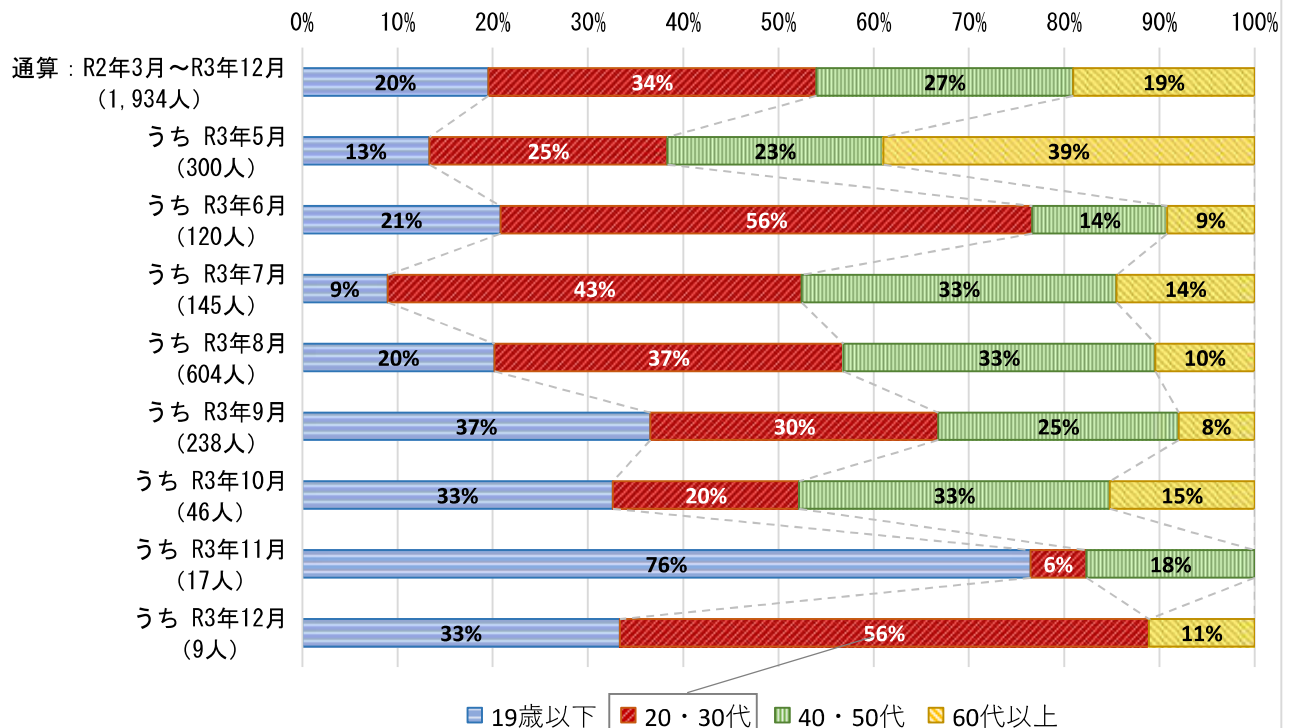
管轄保健所別 累計感染者数（12/22現在）

（人）

大館	北秋田	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	大仙	横手	湯沢	計
80 (4%)	12 (1%)	93 (5%)	164 (8%)	1,067 (55%)	139 (7%)	246 (13%)	66 (3%)	67 (3%)	1,934 (100%)

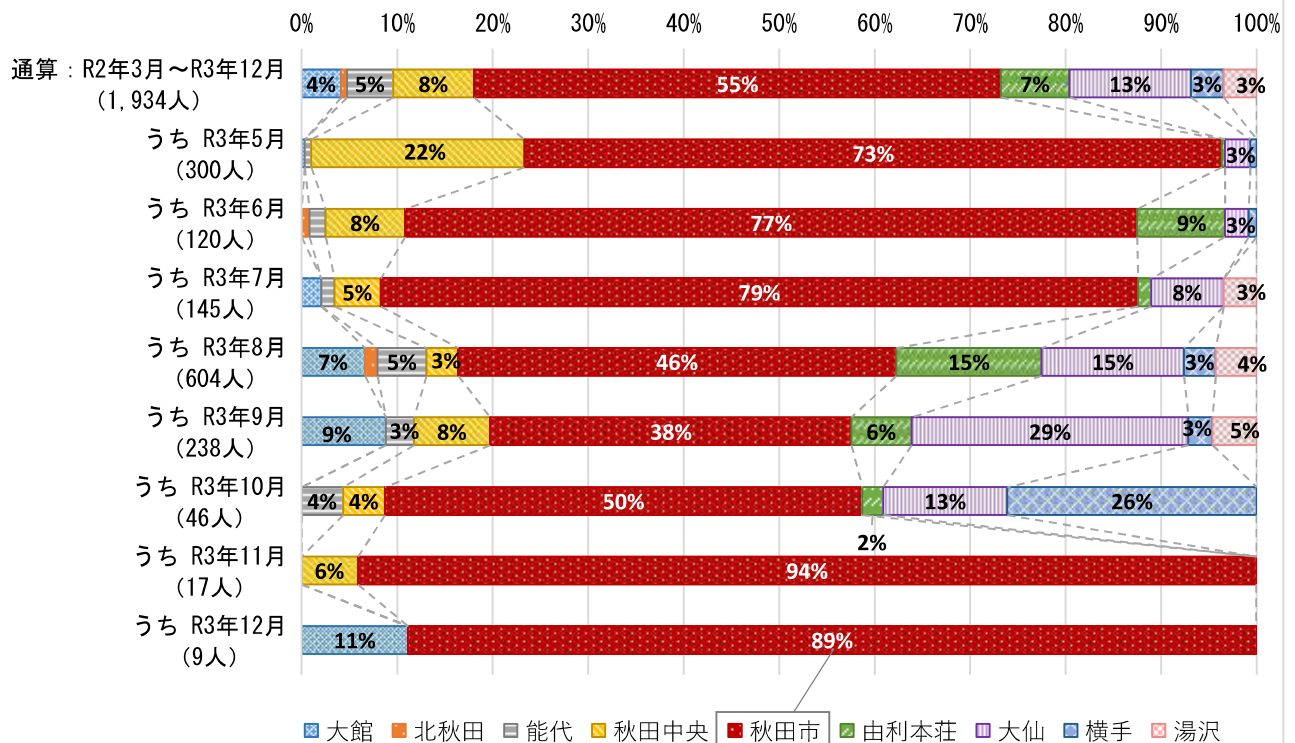
年代区分別感染者数の割合

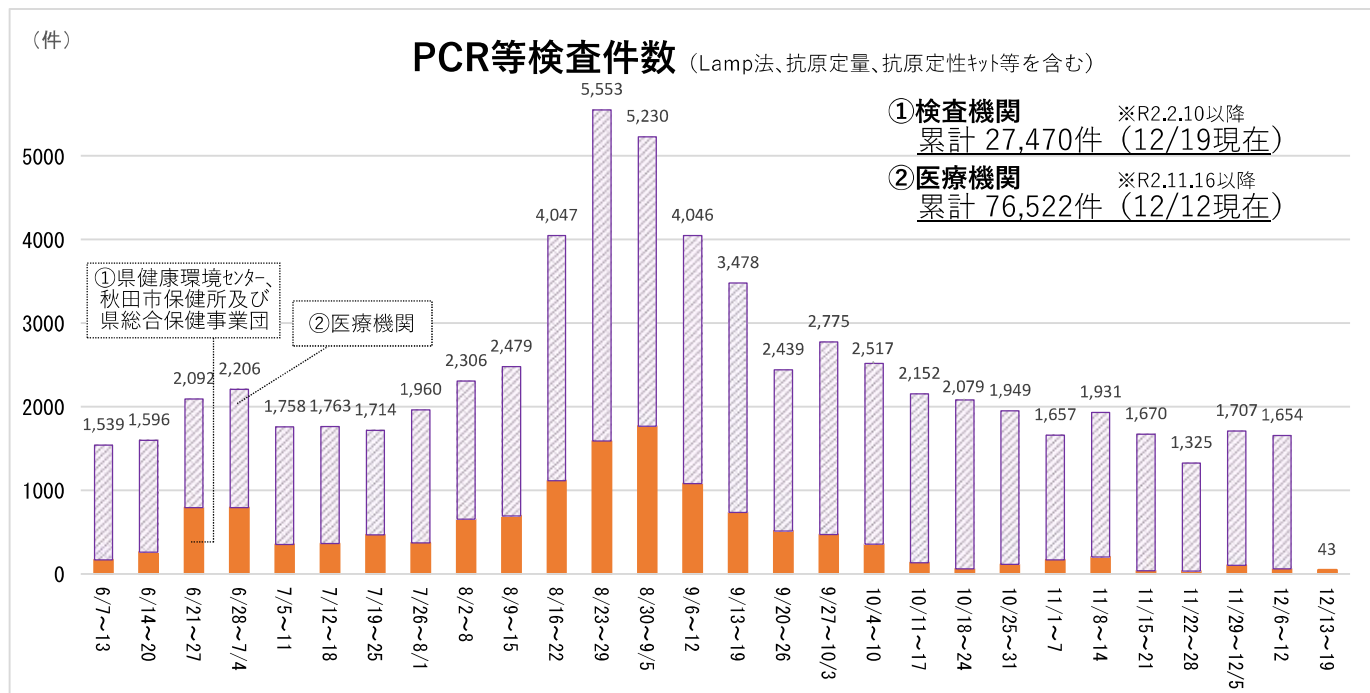
(R3年12月22日現在)



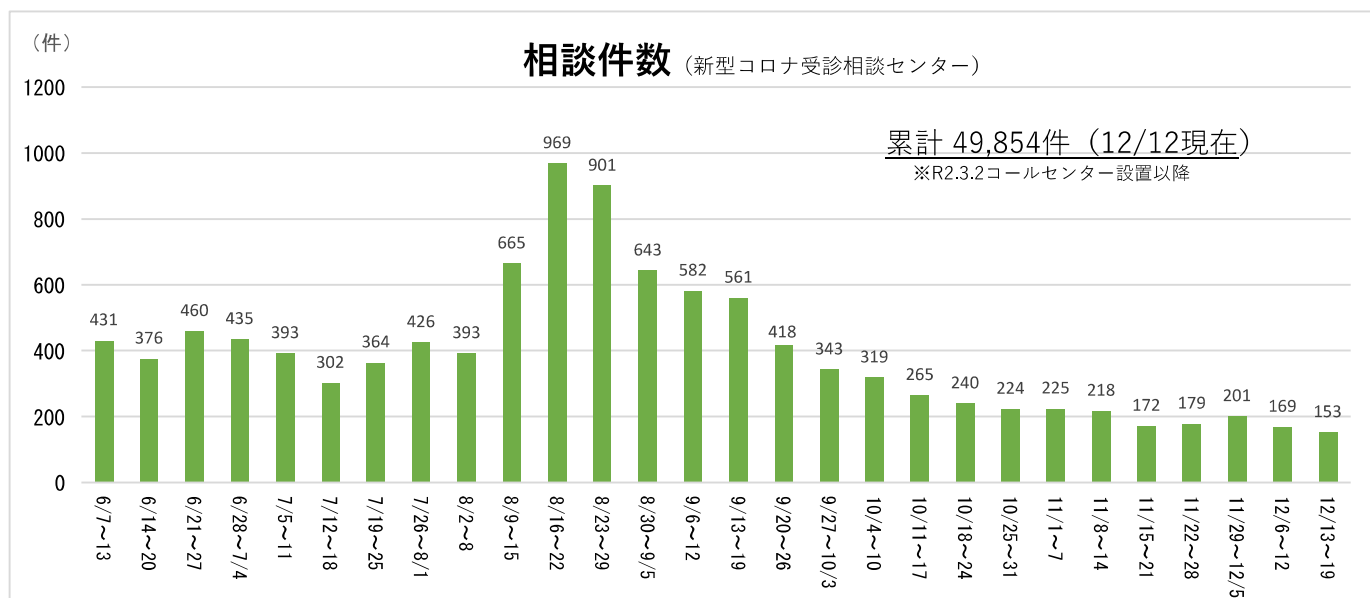
管轄保健所別感染者数の割合

(R3年12月22日現在)



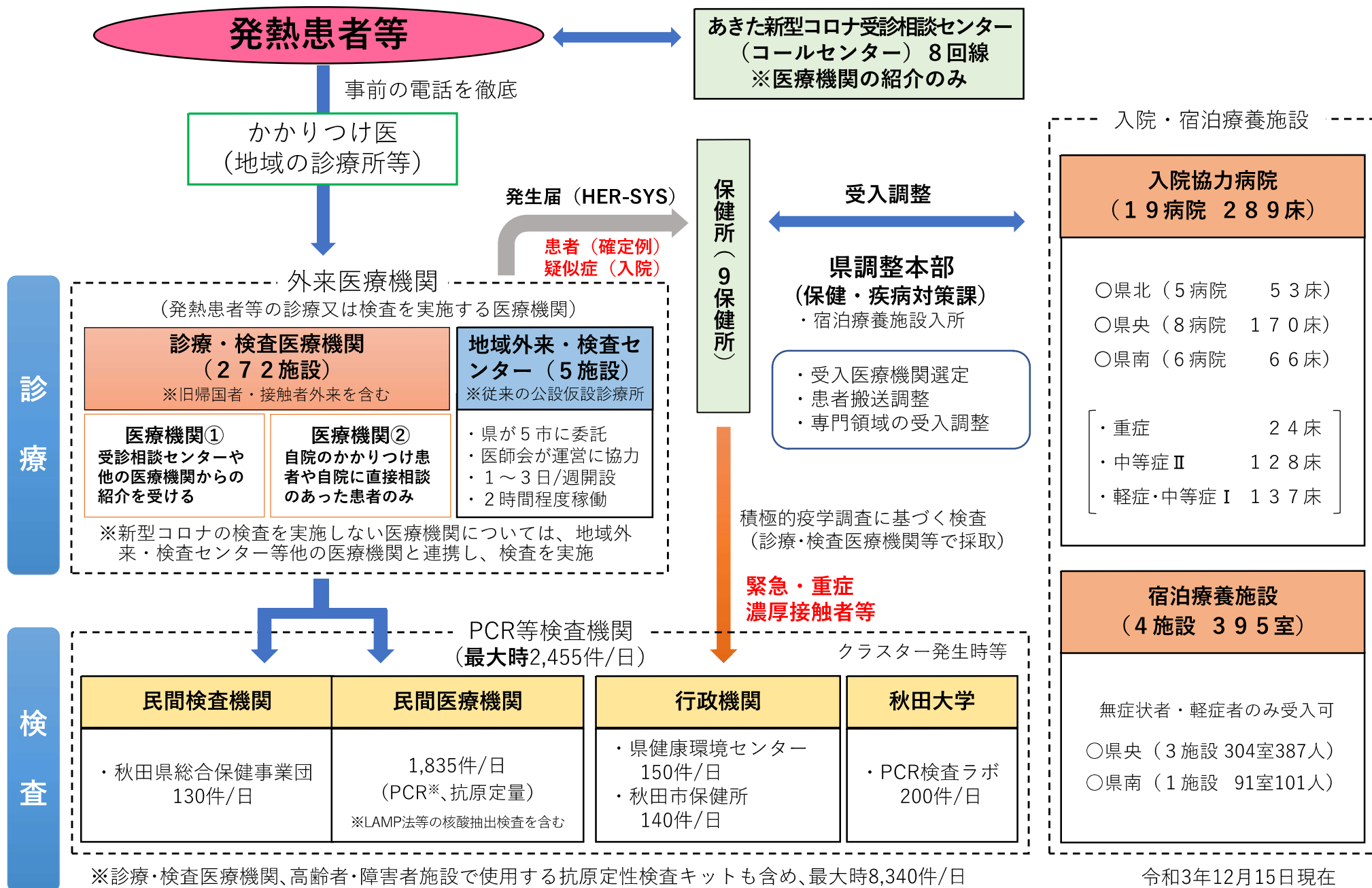


※医療機関における検査件数は、R2.11.16以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数を合計した数値 (G-MIS集計分は12/12まで、県医師会集計分は10/31までの件数)



秋田県新型コロナウイルス感染症 外来医療・入院医療 全体図

5



新型コロナウイルスワクチンの接種について

令和 3 年 1 2 月 2 3 日
健 康 福 祉 部

1 県内の接種状況

＜接種実績＞（首相官邸HP：12月20日公表時点）

	接種回数	うち1回目	うち2回目
一般接種 （高齢者含む）	1, 511, 161	758, 450	752, 711
医療従事者等	109, 968	57, 783	52, 185
計	1, 621, 129	816, 233	804, 896
全人口の接種率 (971, 288人)	—	84. 0%	82. 9%
12歳以上人口の接種率 (899, 448人)	—	90. 7%	89. 5%

※ 一般接種（高齢者含む）：12月19日までの接種実績（ワクチン接種記録システム：VRS）

※ 医療従事者等：7月30日時点で接種実績の集計終了（ワクチン接種円滑化システム：V-SYS）

※ 人口は令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口（12歳以上人口は推計）による。

＜年代別接種率＞（VRS：12月20日確認時点）

	12～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
1回目	84.5%	83.1%	82.5%	88.0%	91.1%	91.3%	93.8%
2回目	82.8%	82.2%	81.6%	87.3%	90.6%	91.0%	93.5%

※ 12月19日までにワクチン接種記録システム（VRS）に登録された接種回数（医療従事者等を含む）及び令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

2 追加接種（3回目接種）について

2回目接種後徐々に低下することが示唆されたワクチンの効果を高めるため、12月から来年9月30日までの間、3回目の接種を実施する。

○ 対象者等

18歳以上の全ての住民を対象に、2回目接種から原則8か月以上の間隔をおいて1回接種

○ 接種間隔の短縮について

次の者へは2回目接種から8か月以上の経過を待たずに追加接種が可能

- ・ 6か月以上の間隔で接種可能…医療従事者、高齢者施設等入所者・従事者、通所サービス事業所の利用者・従事者、病院・有床診療所の入院患者
- ・ 7か月以上の間隔で接種可能（来年2月以降）…全ての高齢者

○ 使用するワクチン

1回目・2回目に接種したワクチンの種類にかかわらず mRNA ワクチン（ファイザー社ワクチン又は武田／モデルナ社ワクチン）

○ 実施状況等

- ・ 12月から医療従事者への接種を開始
- ・ 来月以降、高齢者施設入所者等への接種を順次開始予定

接種費用
無料
(全額公費)

追加(3回目)接種に使用するワクチン についてのお知らせ

**武田/モデルナ社のワクチンも
3回目の接種に使用できるようになりました**



◎ **接種の対象** 2回目のワクチン接種を終了した18歳以上の方

◎ **使用するワクチン**

1・2回目に接種したワクチンの種類に関わらず、ファイザー社または武田/モデルナ社のワクチンを使用します。ファイザー社は1・2回目の接種量と同量ですが、武田/モデルナ社は**半量**になります。

◎ **3回目の接種の安全性と効果**

安全性

ファイザー社及び武田/モデルナ社の薬事承認において、3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目の接種後のものと比べると、どちらのワクチンにおいても、一部の症状の出現率に差があるものの、おおむね1・2回目と同様の症状が見られました。

発現割合	ファイザー社(2回目→3回目接種後の症状)	武田/モデルナ社(2回目→3回目接種後の症状)
50%以上	疼痛(78.3→83.0%)、疲労(59.4→63.7%)	疼痛(88.3→83.8%)、 疲労 (65.4→58.7%) 頭痛(58.8→55.1%)
10 - 50%	頭痛 (54.0→48.4%)、筋肉痛(39.3→39.1%) 悪寒 (37.8→29.1%)、関節痛(23.8→25.3%)	筋肉痛 (58.1→49.1%)、関節痛(42.9→41.3%) 悪寒 (44.3→35.3%)、 リンパ節症 (14.2→20.4%)
1 - 10%	38度以上の発熱 (16.4→8.7%) 腫脹(6.8→8.0%)、発赤(5.6→5.9%) リンパ節症(※)(0.4→5.2%)	38度以上の発熱 (15.5→6.6%) 腫脹・硬結 (12.3→5.4%) 紅斑・発赤 (8.7→4.8%)

(注) 対象/人数: ファイザー2回目 16～55歳/2,682人、ファイザー3回目 18～55歳/289人、モデルナ2回目 18歳以上/14,691人、モデルナ3回目 18歳以上/167人

(注) 2回目接種と比べた3回目接種での発現割合: 5ポイント以上少ないもの、 5ポイント以上多いもの。

(注) 武田/モデルナ社のワクチンは、1・2回目は100μg、3回目は50μg接種している。

(※) ファイザー社のワクチンのリンパ節症は、接種後1か月以内のデータを記載。

出典: 特例承認に係る報告書より

効果

3回目の接種をした人の方がしていない人よりも、新型コロナウイルスに感染する人や重症化する人が少ないと報告されています。

◎ **1・2回目と異なるワクチンを用いて3回目接種した場合の安全性と効果**

英国では、2回目接種から12週以上経過した後に、様々なワクチンを用いて3回目接種を行った場合の研究が行われ、その結果が報告されています。

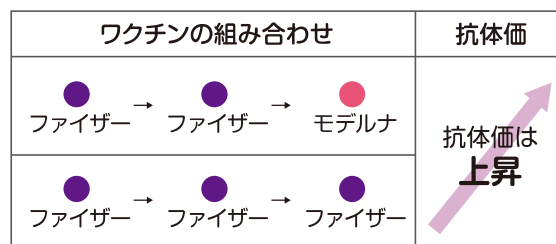
安全性

3回目の接種後7日以内の副反応は、1・2回目と同じワクチンを接種しても、異なるワクチンを接種しても安全性の面で許容されること

効果

1・2回目接種でファイザー社ワクチンを受けた人が、3回目でファイザー社ワクチンを受けた場合と、武田/モデルナ社ワクチン(※)を受けた場合のいずれにおいても、抗体価が十分上昇すること

(※) 武田/モデルナ社ワクチンは、3回目は50μg接種することになっているが、本研究では100μg接種した結果が報告されている。



出典: Munro APS, et al. The Lancet. December 2021

Q.武田/モデルナ社のワクチンは副反応が強いと聞いていますが大丈夫ですか。

A.武田/モデルナ社のワクチンにおける3回目接種は、1・2回目接種で用いた量の半量となります。
2回目接種後と比較して、発熱や疲労などの接種後の症状が少ないことが報告されています。

(注) 接種後の症状のうちリンパ節症は、2回目よりも3回目の方が多く見られます。 出典：特例承認に係る報告書より

Q.ファイザー社と武田/モデルナ社のワクチンの効果に差はありますか。

A.1・2回目の接種では、ファイザー社と武田/モデルナ社のいずれも、2回目接種から約半年後も高い重症化予防効果(※)が維持されています。

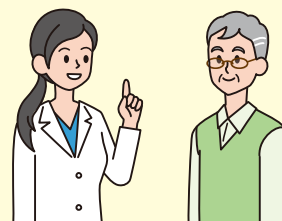
ファイザー社と武田/モデルナ社のワクチンの1・2回目接種の効果を約半年間比較した観察研究では、武田/モデルナ社のワクチンの方が、感染予防、発症予防、重症化予防(※)の効果有意に高かったと報告されています。

(※) 重症化予防には入院予防を含む

出典：Rosenberg ES, et al. medRxiv, 2021. / Self WH, et al. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 2021. / Dickerman BA, et al. NEJM. December 1, 2021.

Q.3回目接種はどのようにしたら受けられますか。

A.お住まいの市町村から3回目用の接種券等が送付されましたら、
ワクチンを受けたい医療機関や会場をお探しのうえ、予約をお願いします。



Q.1回目・2回目の接種をまだ受けていませんが、まだ受けられますか。

A.受けられます。公費で受けられる期間は、現在のところ令和4年9月30日までです。この期間であれば、1・2回目接種も無料ですので、ご希望の方はお早めに受けてください。

◎ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

感染予防対策
を継続して
いただくよう
お願いします。



密集場所



密接場面



密閉空間

「3つの密(密集・密接・密閉)」の回避



マスクの着用



石けんによる
手洗い



手指消毒用アルコール
による消毒の励行

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報
については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワ
クチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

感染警戒レベル等について

令和 3 年 1 2 月 2 3 日
秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

1 現在の状況

- ・ 全国の新規感染者数は、昨年の夏以降で最も低い水準で推移しているものの、今週先週比が 1 を超える週が続いており、増加傾向となっている。
- ・ 新たな変異株「オミクロン株」については、感染性・伝播性の高さ、再感染のリスク、ワクチンや治療薬の効果への影響などが懸念されている。国内でも市中感染が確認されたところであり、感染拡大が危惧される状況である。
- ・ 県内においては、新規感染者が確認されない日が連続するなど感染状況は落ち着いているが、これから年末年始を迎えるにあたり、帰省や旅行などによる人流の増加や忘年会などの恒例行事における接触機会の増加により、感染リスクが高まるおそれがある。

2 県の感染警戒レベルの維持

上記 1 を踏まえ、引き続き感染拡大に警戒が必要な状況であることから、県の感染警戒レベル「2」を維持する。

3 県民への要請内容

(1) 県外との往来

- ① 県外との往来は、不織布マスクの正しい着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底した上で、感染に十分注意しながら行うこと。
ただし、発熱等の症状がある場合は、往来を控えること。
- ② 往来に当たっては、訪問先や出発地の感染状況を踏まえて判断するとともに、混雑した場所など感染リスクの高い場所をできるだけ避けること。

(2) 感染リスクの回避

- ① 飲食を伴う集まりは、「長時間を避け」、「マスク会食」を行うとともに、参加人数に応じた席の配置や換気の徹底など感染リスクの回避に留意すること。
- ② イベント等の開催に当たっては、「三つの密」が発生しない席の配置や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」など基本的な感染防止対策を徹底すること。

(3) ワクチン接種後の感染防止対策

ワクチンを 2 回接種した後も、不織布マスクの正しい着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底するとともに、(2) 記載のとおり、感染リスクが高まる行動を控えること。

「ワクチン・検査パッケージ」について

令和 3 年 1 2 月 2 3 日

総務部

1 定義

感染リスク低減のために、飲食店、イベント、観光事業者等が利用者のワクチン接種歴又は P C R 等検査の陰性結果を確認することをいう。

2 パッケージが活用される場面

(1) 現在

- 「あきた冬割キャンペーン！」など国の観光支援事業（利用の条件）
（参考）県民が利用できる隣県で実施中のキャンペーン
 - ・青森県おでかけキャンペーン
 - ・いわて旅応援プロジェクト第 2 弾
 - ・みやぎ宿泊割キャンペーン
 - ・やまがた冬割キャンペーン（1 月 4 日から利用可能）
- 民間事業者や施設設置者が提供するサービス利用へ活用（自主的な取組）
例：イベントでの「ワクチン・検査パッケージチケット」の販売など

(2) 感染拡大時

- 国の要綱で規定する「ワクチン・検査パッケージ制度」
県に事前に登録した飲食やイベント等の事業者が、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の対象地域において課される「行動制限の緩和」を受けることが可能。

3 接種歴等の確認

事業者は、利用者から本人確認書類とともに①又は②の提示を受ける。

- ① 利用者のワクチン接種済証、接種記録書、接種証明書（紙・電子）のいずれか
条件：2 回目接種から 1 4 日以上経過していること
 - ・接種済証等を写真撮影したものやコピーでも使用可
 - ・電子版の接種証明書は、スマートフォン上で専用アプリから取得可能
（マイナンバーカードが必要）
- ② 検査結果の陰性結果通知書
条件：P C R 検査・抗原定量検査 検体採取日より 3 日以内
抗原定性検査 検査日より 1 日以内

P C R 等検査無料化事業の実施について

令和 3 年 1 2 月 2 3 日
健 康 福 祉 部

1 事業の概要

- ・健康上の理由等によりワクチンが接種できない無症状の方が、「ワクチン・検査パッケージ」等のために必要となる検査（P C R 等検査・抗原定性検査）を無料化

【対 象 者】 ・健康上の理由でワクチン接種できない方
（無症状の方） ・1 2 歳未満の子ども

【検 査 目 的】 ・イベント・飲食・旅行・帰省等の経済社会活動に必要
（ワクチン・検査パッケージ等）

※感染拡大傾向時には、知事の判断により、感染に不安を感じる方の検査も無料化
（当該検査無料化を実施する場合は、県のウェブサイトなどで告知）

2 実施事業者の募集

- ・募 集 期 間：1 2 月 2 2 日から（当面、随時受付）
- ・対象事業者：医療機関、薬局、衛生検査所等
⇒ 実施事業者（検査場所）の一覧を県のウェブサイトに掲載
（掲載 URL <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/61915>）

【事業開始予定】

○木下グループPCR検査センター

1 2 月中 4 か所で実施

秋田市役所店（24日～）、大館市指定PCR検査所（24日～）、
大仙市指定PCR検査所（年内）、由利本荘市指定PCR検査所（28日開設）

○薬局・医療機関

1 2 月中 4 か所で実施見込み

1 月以降 体制が整った実施事業者から順次開始

3 問い合わせ対応窓口

- ・実施事業者や県民等からの問い合わせ対応コールセンターを1 2 月 2 2 日設置

○秋田県P C R 等検査無料化事業事務局コールセンター

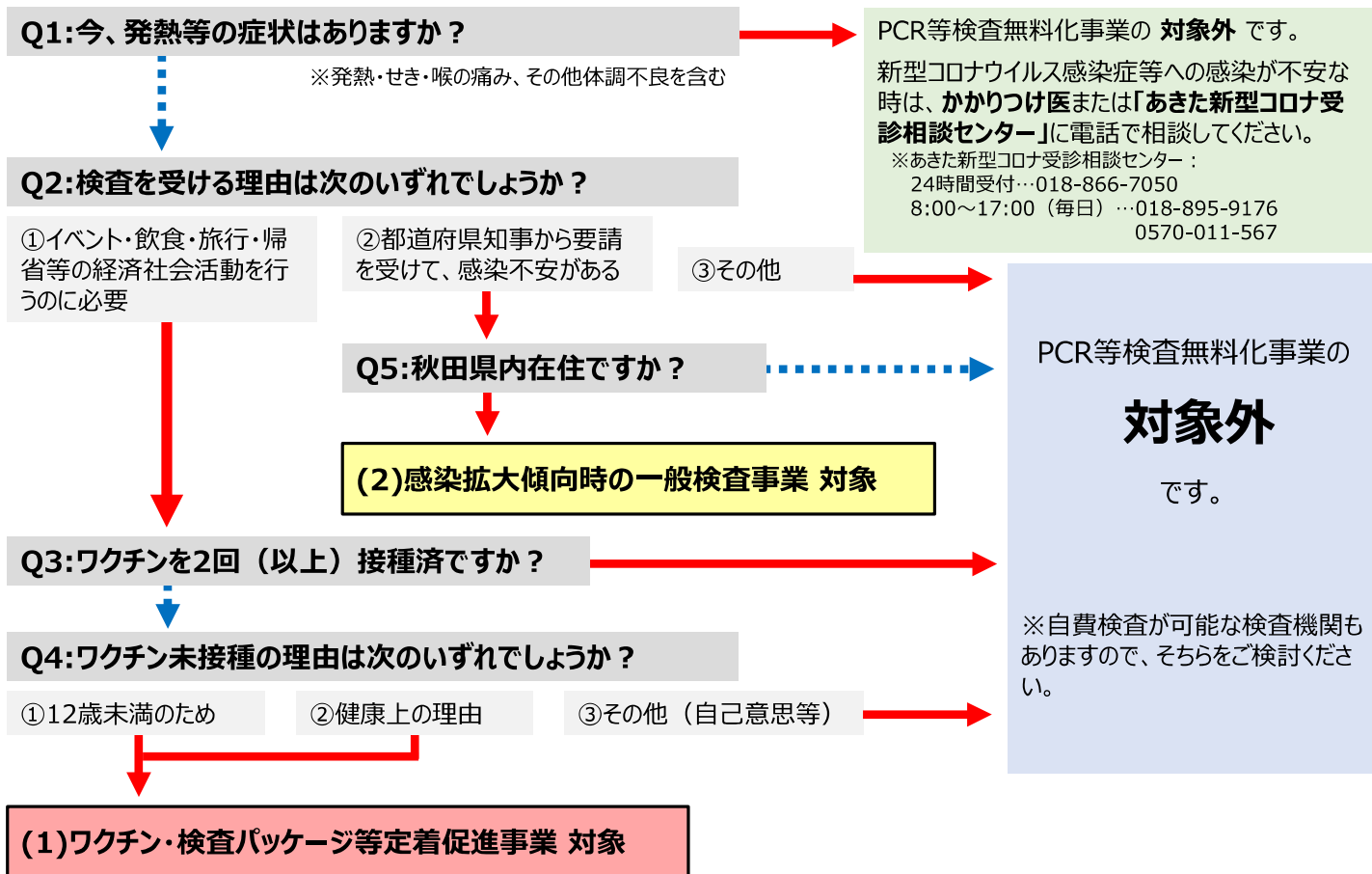
電話番号：0 1 2 0－3 5 0－1 6 3

受付時間：9 時～1 8 時（土日・祝日も実施）

※年末年始の対応について

12/29～1/3 は電話番号 090-3129-5128 で対応（9:30～17:30）

【PCR等検査無料化事業】対象者確認 Yes／No チャート



		ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業	感染拡大傾向時の一般検査事業
実施期間		令和4年3月末まで	終了時期未定
感染拡大状況別の適用事業	拡大傾向なし	○	×
	拡大傾向あり	○	×
	拡大傾向あり、かつ、知事が必要と認める場合	○	○
無料検査の対象者	県民限定	×（県民に限らない）	○（県民限定）
	ワクチン接種済み	2回以上接種の方は対象外	○（対象）
	健康上の理由等によるワクチン未接種者 ※基礎疾患、副反応の懸念など健康上の理由によりワクチン接種を受けられない方、12歳未満の子ども	○（対象）	○（対象）
	自己意思によるワクチン未接種者	×（対象外）	○（対象）

申込書

令和 年 月 日

1 本人確認

氏名：_____

住所：_____

性別：_____ 生年月日：_____

連絡先：（電話番号）_____

（メールアドレス）_____

2 検査利用回数

過去に利用した、無料検査（行政検査を除く）の回数

※回数・頻度が多い場合には、理由の疎明をお願いすることがあります。

_____回

3 検査目的（✓を記入ください）

本日の検査の目的について、下記より1つ選択

1. ☐ イベント・飲食・旅行・帰省等の経済社会活動を行うに当たり、必要であるため
（ワクチン・検査パッケージ等）（2.に該当する場合を除く）
2. ☐ 都道府県知事から要請を受けて、感染不安があるため（感染状況が拡大し、知事が必要と認めた場合に限る）
3. ☐ その他

4 ワクチンの接種の有無（✓を記入ください）

3で「1.」を選んだ場合、ワクチンを2回接種済みか

- ☐ はい
- ☐ いいえ

5 4で「いいえ」を選んだ場合、その理由（✓を記入ください）

1. ☐ 12歳未満である
2. ☐ 健康上の理由
3. ☐ その他（理由：_____（例）自己の意思等）

裏面もあります

(確認事項：✓を記入ください)

□仮に検査結果が陽性であった場合には「あきた新型コロナ受診相談センター」に相談します。また、申込書に記載の個人情報について、県及び居住地の管轄保健所に情報提供するとともに、管轄保健所の指示に従うことを誓約します。

☐上記項目につき、虚偽がないことを証するとともに、本申込書は県から求めがあった場合には県に提出されることがあることについて同意します。また、県が必要と認め、本事業の適正執行を確保するため、ワクチン接種の有無についてご記入いただいた氏名・住所・性別・生年月日の情報に基づき、市町村に照会を行ったときは、市町村がワクチン接種歴の有無について回答することがあることに同意します。

※1：ご申告いただいた内容が虚偽であることが判明した場合、検査費用の負担を求めるほか、県が必要と認める措置を講じる場合があります。また、ワクチン接種の有無については、別途自治体において確認する場合があります

※2：次回の検査申込に当たっては、PCR検査等の結果通知書等の有効期間が3日間とされていること及び抗原定性検査の結果通知書等の有効期間が1日間とされていること等も踏まえ、前回の検査から経過した日数等を考慮の上、申込を行うようお願いいたします

担当者確認欄

本人確認の実施	☐ 運転免許証 ☐ 健康保険証 ☐ マイナンバーカード ☐ その他（ ）
無料検査の区分	☐ V T P 等分（5. ワクチン未接種理由で「1.」または「2.」を選んだ場合）
	☐ 一般検査分（3. 検査目的で「2.」を選んだ場合 ※ <u>居住地が秋田県内</u> である必要があります ※住所が記載された身分証明書等（免許証、保険証など）で確認
	☐ 対象外（上記のいずれにも該当しない場合）
その他 （回数疎明を求めた際に記入）	

新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について

令和 3 年 1 2 月 2 3 日
秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

【飲食店・宿泊施設における感染防止対策への支援等】（生活環境部、産業労働部、観光文化スポーツ部）

（１）飲食店の認証制度

適切な感染防止対策を講じる飲食店を認証する制度の導入

- ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
- ・ 申請件数：691 施設（12. 21 現在）
- ・ 認証件数：553 施設（12. 21 現在）

（２）飲食店感染予防環境整備支援事業（新型コロナ対策認証枠）

飲食店の認証取得に向けた設備導入への助成

- ・ 補助率：4/5（上限額 30 万円）
- ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
- ・ 申請件数：418 施設（12. 20 現在）

（３）宿泊施設感染防止対策等支援事業の実施

感染防止対策等ための物品購入や施設改修等に必要な経費への助成

- 感染防止対策のための物品購入等への支援
 - ・ 補助率：2/3（上限額 200 万円）※認証取得に向けた取組は 4/5
 - ・ 申請期間：R3. 5. 28～R4. 2. 28
 - ・ 申請件数：107 施設（12. 20 現在）
- 感染防止対策等のための施設改修等への支援
 - ・ 補助率等：1/2（上限額 500 万円）※経営改善計画策定は 2/3（1, 000 万円）
 - ・ 申請期間：R3. 6. 2～R3. 11. 19
 - ・ 申請件数：59 施設（12. 20 現在）

【企業の事業・雇用継続に対する支援等】（産業労働部）

（１）資金繰り支援

受注減等による経営不振の中小企業に対する経営安定資金の貸付

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策枠（R3. 4. 1～11. 30）：23 件、6. 2 億円
- ・ 危機関連枠＜売上高等 15%以上減少＞（R3. 4. 1～11. 30）：604 件、74. 1 億円

（２）雇用維持支援金の給付

雇用維持に努める中小企業に対する雇用調整助成金の受給状況に応じた支援金の給付（1 回：10 万円、2 回：20 万円、3 回以上：30 万円）

- ・ 交付決定（R3. 4. 1～7. 30）：215 事業所、38, 400 千円（最終）

〔主な内訳〕製造業：52 事業所、9, 000 千円
卸売・小売：60 事業所、10, 800 千円
サービス業：32 事業所、5, 500 千円

(3) PCR等検査に要する費用への助成

中小企業の従業員等が県外出張後に行うPCR等検査の費用への助成

- ・ 交付決定（12.17 現在）：50 件（103 検査分）、946 千円

(4) 飲食店への支援金の給付

売上が大きく減少した飲食店及び飲食店関連事業者に対し、事業継続を支援するため、支援金を給付

- ・ 対象者 次の要件をすべて満たす中小企業者等

（1）県内に本店又は主たる事業所を有する中小企業者等（個人事業主含む）

（2）飲食店又は、飲食店と継続的に直接取引のある事業者（飲食店関連事業者）

（3）直近決算期の売上が前年度又は、前々年度と比較して20%以上減少していること。

- ・ 支援金額 1 事業者当たり売上金額3千万円につき30万円
（上限300万円）

- ・ 申請受付 令和4年10月27日～令和4年1月31日まで

- ・ 申請件数 1,858 件 812,100 千円(12/17 現在)

(5) 販路開拓・取引拡大を支援

ウィズコロナに対応した新たなスタイルの展示会等への出展を助成

- ・ 交付決定（一次募集 R3.7.7～8.6）：13 件、2,902 千円

（二次募集 R3.8.16～9.30）：2 件、277 千円

- ・ 交付決定前（三次募集 R3.10.4～12.10）：申請件数5件

- ・ 補助率：1/2（上限額30万円）

【宿泊・観光需要の喚起等】（観光文化スポーツ部）

(1) 「旅して応援！」あきた県民割キャンペーンの実施

○ 県内旅行代金の割引

県内在住者を対象に、県内を目的地とする旅行商品（日帰り含む）及び宿泊代金について、1人1泊（日帰りは1回）当たり5,000円を上限に割引

- ・ 対象期間：令和3年12月31日（1/1チェックアウト）まで

ただし、10月31日までに予約・販売されたものに限る。

- ・ 精算状況（12.15 現在 速報値）：2,090,750 千円 ※精算率88.7%

○ 地域限定クーポン券の発行

土産店、飲食店等で旅行期間中に使用できる地域限定クーポンを1人1泊（日帰りは1回）当たり最大2,000円を上限に配布

- ・ 精算状況（12.15 現在 速報値）：836,300 枚、836,300 千円 ※精算率97.5%

(2) 「秋田の魅力を再発見！」旅行商品造成支援事業の実施

県内の魅力を感じられる県民向け旅行商品の造成・販売を支援

- ・ 送客助成：1人当たり 3,000 円 ・ バス助成：1台当たり 75,000 円

- ・ 実績状況：27 社、202 本、34,028 千円

(3) 冬季宿泊・観光関連事業者支援事業（あきた冬割キャンペーン!）の実施

○ 宿泊事業者への助成

冬季の県民向け宿泊プランを造成し、割引価格で販売した宿泊事業者に対して、1人1泊当たり5,000円を上限に助成する。

- ・対象期間：令和3年11月19日～令和4年2月28日
- ・対象者：県内在住者（令和4年1月1日から隣接4県の在住者を追加）
- ・助成額：1／2（上限5,000円）
- ・限度額：1事業者当たり250万円
- ・人泊数：172,500人泊（予定）
- ・精算状況（12.21現在 速報値）：192件 27,614,000円 ※精算率5.5%

○ 観光関連施設応援クーポンの発行

上記宿泊プランの利用者に対し、旅行期間中に使用できるクーポンを1人1泊当たり1,000円分を配付する。

- ・対象施設：観光関連施設（道の駅、土産店、観光体験施設 等）
- ・配付枚数：172,500枚（予定）

(4) スキー場を活用した冬季誘客促進事業の実施

スキー場への誘客により冬季観光の振興を図るため、県内在住者を対象としたリフト代金等の割引券を発行する。

- ・発行枚数：2,000円割引（リフト・食事等） 10,000枚
7,000円割引（リフト・食事＋レンタル等） 5,000枚
- ・対象施設：秋田県スキー場協会加盟14スキー場
- ・対象期間：令和3年12月～令和4年3月上旬

(5) 冬季旅行商品造成支援事業の実施

冬季における旅行商品の開発・魅力増進を図るため、県内の旅行業者に対し、秋田の魅力ある県民向け冬季旅行商品の造成・販売を支援する。

- ・補助先 県内の旅行業者
- ・補助額 送客補助 1人当たり上限 6,000円
広告補助 1社当たり上限 300,000円
- ・限度額 1事業者当たり530万円
- ・対象期間 令和3年11月～令和4年2月まで
- ・申請状況（12.20現在）26社、44,737千円（宿泊5,291人泊、日帰り4,387人）

(6) 県内空港利用促進緊急対策事業の実施

○ 県内空港県民利用促進事業

県民が航空路線を往復利用する場合、航空運賃の一部をキャッシュバックする。

- ・対象者：秋田空港、大館能代空港の航空路線を往復利用する県内居住者
※旅費が支給されるビジネス利用やマイレージ等による無償利用は対象外
- ・助成額：5,000円／1往復
- ・対象期間：令和4年1月中旬～2月28日

○ 空港ターミナルビルテナント利用促進事業

航空路線利用者が空港ビル内のテナントで使用可能な割引クーポンを発行する。

- ・対 象 者：秋田空港、大館能代空港の航空路線利用者
- ・額 面：1,000 円（税込 2,000 円以上の商品購入・飲食に使用可能）
- ・発行枚数：秋田空港 10,000 枚 大館能代空港 2,500 枚
- ・使用期間：令和 4 年 1 月中旬～2 月 28 日（発行は 2 月 23 日まで）

【県産品の消費喚起】（観光文化スポーツ部）

（１）県産品のネット販売拡大の支援

県産品の消費喚起を図るため、県産食品をネット販売する県内事業者の送料等を助成

- ・対象期間：令和 3 年 4 月 27 日～令和 3 年 10 月 31 日
- ・実績状況（12.20 現在）：補助実績 18,168 千円（18 社）

（２）県産品消費喚起キャンペーンの展開

県内量販店等の県産品コーナー等で購入した商品を県外に発送する際に送料が軽減されるキャンペーンを展開

- ・対象期間：令和 3 年 5 月 1 日～令和 3 年 8 月 31 日
- ・実績状況（12.20 現在）：補助実績 11,030 千円（12 社）、発送件数 23,896 件

【学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化】（教育庁）

校内の消毒作業など新しい生活様式に対応した校内環境の整備に当たるサポーターの配置

- ・18 市町村の小・中・義務教育学校に 91 名配置（4.1～）

【全国大会参加者等への P C R 検査支援】（観光文化スポーツ部、教育庁）

（１）国民体育大会参加選手等における感染検査の実施

東北総合体育大会及び国民体育大会に参加する選手団等の感染予防対策を徹底するため、選手・監督・役員等について大会出場に係る P C R 検査を実施

○東北総合体育大会（開催地：山形県、主会期：R3.8.20～R3.8.22）

（18 競技 367 人に P C R 検査を実施）※12 月に 2 競技実施

結果判明数：367 人 全て陰性

※国民体育大会（本大会）については中止により実績なし

（２）全国大会等出場校における感染検査への支援

対 象 者：部員、引率者 等

対象大会：全国組織及び東北地区の各連盟（高体連・高野連・中体連・高文連等）が主催・共催する大会及び全国障害者スポーツ大会

予 算 額：259,120 千円

申込者数：511 団体（3,498 人） ※12.20 時点

結果判明数：3,066 人 全て陰性

【道の駅、空港等における注意喚起】（建設部）

注意喚起ポスターを、道の駅、高速道路の S A・P A、空港ターミナル、都市公園等へ掲示中